

入会のご案内

奈良のしごとは奈良でする
福祉型だからできる
あたらしい・はたらくの創造

あたつく組合では、古都奈良の福祉や地域活動を一緒に盛り上げる仲間を募集しています。
組合員や賛助会員として、新しい事業の創造に携わったり、日々の業務の悩みを相談したりし
ながら、はたらくを一步先に進めませんか？

ご興味のある方は、組合事務局までお気軽にお問い合わせください。みなさんのご応募をお
待ちしております。

正組合員：組合員価格での商品購入、研修参加および組合への仕事の発注、組合員として仕事の受注、プロジェクトマネジャーとしての事業への参画ができます。

賛助会員：組合員価格での商品購入、研修参加および組合への仕事の発注、組合員として仕事の受注はできませんが、プロジェクトマネジャーとしての事業への参画はできません。

応援団：応援団価格での商品購入ができます。研修参加は一般価格になります。組合員として仕事の受注やプロジェクトへの参画はできません。

入会資格

- ▶ 正組合員：下記のすべてに当てはまること
- ▶ 賛助会員：下記の①～③に当てはまること
- ▶ 応援団：下記の①～③に当てはまること

- ① 組合の趣旨に賛同し、協力いただける企業・団体や個人
- ② 組合の趣旨に賛同し、支援いただける企業・団体や個人
- ③ 組合員 1 名以上からの推薦があること
- ④ 業種が定款に定められたものであること
- ⑤ 中小企業基本法が定める中小企業者もしくは小規模企業者であること
- ⑥ 奈良県内に所在地があること

- Step.1** 組合員 1 名以上からの推薦
あたつく組合に加入している正組合員から推薦を受けてください
- Step.2** 入会申込書に記入
入会申込書をご準備いたしますので、推薦者名とともに組合事務局にご連絡ください ※応援団の場合 Step.7 へ
- Step.3** 入会申込に必要な書類の習得
登録簿謄本または開業届の写しを 1 通ご準備ください
- Step.4** 入会申込書および必要書類の提出
組合事務局までメール添付・FAX 送信・郵送のいずれかでご提出ください
- Step.5** 理事会にて承認
組合理事会にて入会の承認をいたします
- Step.6** 入会案内の送付
組合事務局より入会手続きのご案内を送付いたします
- Step.7** 入会手続き
① 出資同意書のご提出（正組合員のみ）
② 出資金・賦課金のお振込（正組合員のみ）
③ 入会金・会費のお振込（賛助会員・応援団のみ）
入会手続きのご案内に従って、上記の手続きをお願いいたします
- Step.8** 入会完了
入金の確認を以って入会完了となります
毎週月曜日に開催しております組合員対象の運営委員会にぜひご参加ください

組合員		組合員			
	出資金	1 口 30,000円（何口でも）			
	賦課金	月額 8,000円			
賛助会員 ・応援団		賛助会員（法人）	賛助会員（個人）	応援団（法人）	応援団（個人）
	入会金	30,000円	10,000円	30,000円	10,000円
	会費	月額 10,000円	月額 1,000円	年間 30,000円	年間 6,000円

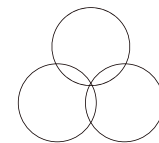
あたつく組合

あたつく福祉型事業協同組合

〒630-8115 奈良市大宮町 3-5-39 第 3 やまと建設ビル 301 号
TEL: 0742-81-7081 FAX: 0742-81-3251 jimukyoku@atatsuku.com
https://atatsuku.com



HPはこちら



あたつく組合

あたつく福祉型事業協同組合

あたつく組合とは

私たちは「はたらく」とは、社会の中で
自分の存在価値を確かめることのできる大切な手段であると考えています。

障害のあるなしに関わらず、すべての人が「生きがいを感じながら、幸せに生きる社会をつくること」を目指して、
あたつく組合を設立しました。そんな社会を実現するためには、相手を思いやり理解する「福祉」がベースとなり、
安心して安全な社会の土台を支えることが大切です。
私たちは、今までにない働き方を創造しながら、誰もが幸せに生きる社会を目指しています。

行政機関・企業

国・地方自治体・企業・各種法人

仕事の発注・相談



商品・サービスの提供

共同受注窓口

あたつく組合

案件ごとにプロジェクトチームを設置

業務配分・工程管理



プロジェクトに参画

組合員

福祉施設・事業所 | NPO | 企業
社会起業家 | 個人事業主

「共同受注窓口事業者」

あたつく組合の大きな大きな役割の1つに「共同受注窓口」があります。福祉施設や事業所の運営規模は大小様々です。

「〇〇を発注したい」と思っても、納期や数量等がネックとなって、契約に結びつかない場合があります。あたつく組合が共同受注窓口を各施設等で分担できるように調整し、納期や工程管理を行います。

複数の事業所を統括することで、安定的な生産が実現でき、小規模事業所の生産活動にもつながります。この共同受注窓口により、障害者就労施設等からの授産品やサービスの受注推進につながっています。

あたつく組合の運営 スタイル

あたつく組合の目的

- ✔ 就労支援により、障害者の「あたらしいはたらく場」をつくる
- ✔ 若者やママの仕事をつくる
- ✔ 中小企業の障害者雇用を応援する
- ✔ 多様な企業が連携した「共同体」を構築する

あたつく組合の活動内容

1. 奈良の文化を継承する事業を推進します
2. IT系企業連携による行政等のHPを受注します
3. 奈良の地場産業を新たな視点で活性化します
4. 優先調達制度の受注で企業連携とはたらく場を開設します
5. コワーキングスペースで共同型の経営を支援します
6. セミナーや交流会で奈良の課題を解決します

あたつく組合の核「運営委員会」 あたつく組合では「運営委員会」を組織し、日々の業務に対応しています。

運営委員会

異業種の共同体であるあたつく組合には、様々な特徴を持った団体や個人が参加しています。その強みを活かすべく、「運営委員会」毎週（通常月曜午前中）を開催し、組合員が一同に会する機会を設けています。

事業の意義や目的など情報共有に止まらず、事業の進め方や新規プロジェクトについての意見交換や立案、ときには組合員の相談事に意見を出し合う、あたつく組合の心臓部です。



沿革

平成27年………
12月 日本初、異業種で福祉型事業協同組合が発足

平成28年………
9月 奈良県優先調達共同受注窓口に認定

平成29年………
1月 春日大社境内の杉プロジェクト開始
D@C Award2017大賞受賞
事務局代行支援事業開始
2月 奈良県障害者雇用ビジネスモデル事業の報告
第5期生駒市障害福祉計画策定支援業務を受注
9月 平城京再生プロジェクト参画
生駒市広報誌デジタル化業務を受注

平成30年………
4月 春日大社境内の杉で作った小品を奈良国立博物館に出品
10月 未来の福祉セミナー第1期開催

令和元年………
1月 『多様性を強みにするこれからの働くをつくる』シンポジウム講演
2月 三周年事業報告会を生駒市コミュニティセンターにて開催

令和2年………
2月 奈良市障害計画等策定準備業務受注
8月 未来の福祉セミナーオンライン化

令和3年………
2月 奈良市障害者計画事業受注

令和4年………
11月 第1回なら就労系福祉と企業のセミナー交流会開催

令和5年………
4月 休眠預金活用事業によるダイバーシティ人材センター構想事業開始

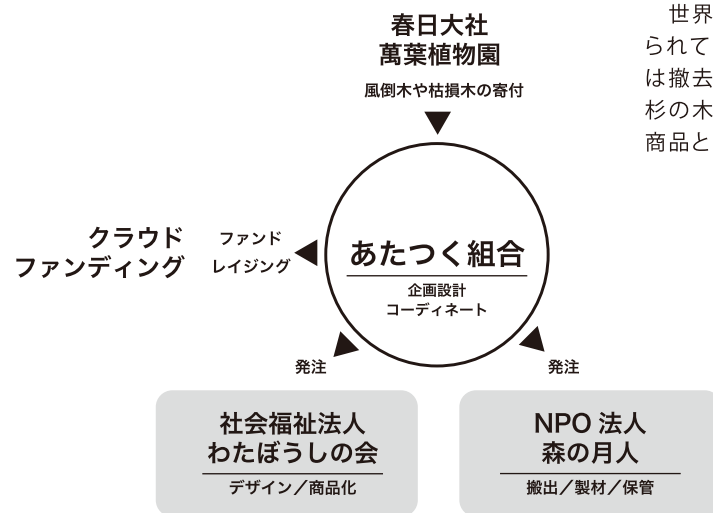
あたつく組合が関わるプロジェクト

これまでにあたつく組合が行った、事業の一例をご紹介します。

Project 1 「春日大社境内の杉活用プロジェクト」

春日大社境内の風倒木および枯損木の福祉的活用

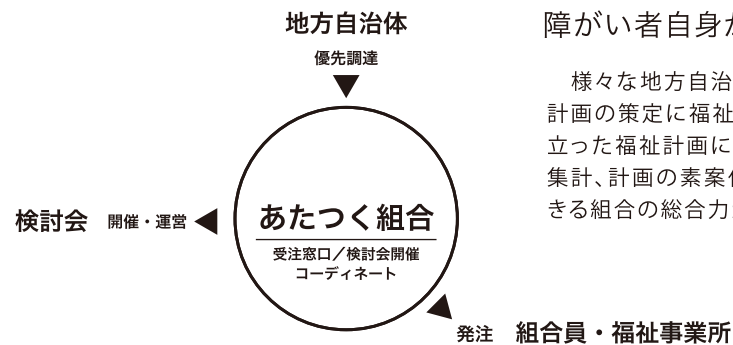
世界遺産である春日大社境内は御神域であるため、狩猟や伐採は禁じられています。しかしながら社の保全保守のためには、風倒木や枯損木は撤去する必要があり、社会福祉に役立てたいとの趣旨のもと、撤去した杉の木をご寄付いただきました。杉の木はその特徴的な木目を活かした商品となり、多くの福祉事業所の活動につながっています。



Project 2 「障がい者福祉計画策定」

障がい者自身に関わる地方自治体の福祉計画を策定

様々な地方自治体から福祉計画の策定業務の依頼をいただいています。計画の策定に福祉事業所が関わることが、より当事者の視点、現場の目線に立った福祉計画につながっています。事前アンケートの制作や発送、回答の集計、計画の素案作成など、多岐にわたる業務に対して、様々な力を結集できる組合の総合力が発揮される事業です。



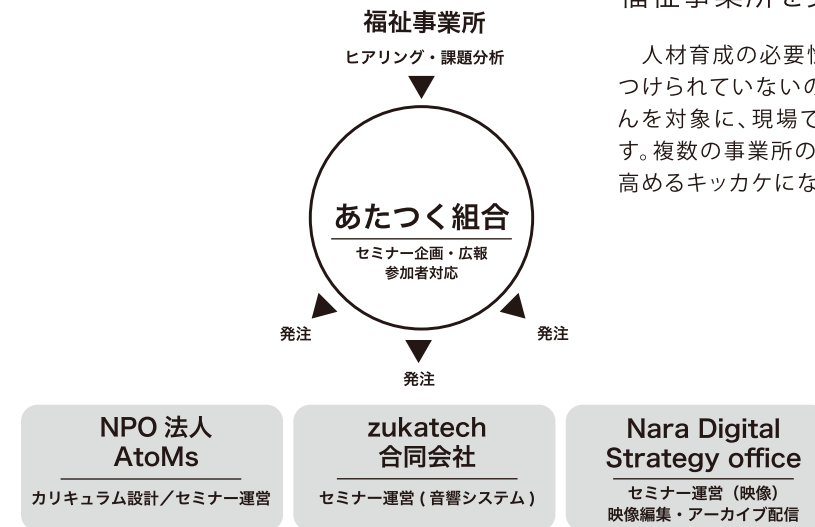
これまでの実績

- ・第5期生駒市障がい者福祉計画
- ・第4次奈良市障害者福祉基本計画・第6期奈良市障害福祉計画
- ・令和2年度奈良市移動支援・日中一時支援事業実態把握調査業務

Project 3 「未来の福祉ゼミ」

福祉事業所を支える人材を支える人材育成事業

人材育成の必要性は感じられていながら、日々の業務の中でなかなか手をつけられていないのが現状です。福祉事業所で働くチームリーダーのみなさんを対象に、現場ですぐに使える知識やスキル、ノウハウをお伝えしています。複数の事業所の職員が参加することで、交流の場にもなり、現場の支援を高めるキッカケになっています。



未来の福祉ゼミの動画ができました！

「セミナーの様子が知りたい」や「他の人に紹介したいけど説明しづらい」とのお声に応えて、未来の福祉ゼミの動画ができました。特設サイトからぜひご覧ください。

【内容】

- ・未来の福祉ゼミが目指すもの
- ・未来の福祉ゼミのカリキュラム
- ・参加者インタビュー ほか



特設サイトはこちら

Project 4 「なら就労系福祉と企業のセミナー交流会」

福祉と企業と自治体をつなぐ地域連携推進事業

奈良は福祉発祥の地であり、企業の障害者雇用率が日本一です。古都奈良で就労系福祉や企業や自治体が連携して奈良に貢献するために、ならセミナー交流会を開催しています。

障害者雇用の促進、優先調達制度の普及、福祉施設の仕事力の紹介をテーマに、2022年11月第1回目を開催しました。

